

松之山振興協議会が震災義援金

日本赤十字社石川支部へ持参

松之山振興協議会は10月17日(木)、金沢市にある日本赤十字社石川支部を訪し、支援するため義援金10万円



石川支部由田部長 高橋会長 中島副会長

て、1月1日に発生した能登半島地震による被災者を支援するため義援金10万円を届けた。同振興協議会では15人の参加で能登地方視察研修で金沢市を訪れていたもので、石川支部には高橋洋一会長と中島健男副会長が訪問、同支部由田和宏部長に手渡しした(写真)。

同協議会では、3月の総会で義援金を予算化し、能登地方への視察研修を計画していた。

その後、9月には能登半島で甚大な大雨災害も発生した。由田部長からはお礼の言葉と共に、日本赤十字社の支援活動や能登地方の現状が報告された。

高橋会長は「十日町市では平成16年に発生した中越地震後も、中越沖地震、長野県北部地震、豪雨災害を経験し、多方面から支援と義援金を頂いてきた経緯がある。そうしたことから相次いで震災が発生している能登地方に応援の気持ちを示したいと計画してきた」と話していた。